

Course number		U-LAS55 10002 SB31					
Course title (and course title in English)		海外実地セミナー:東南アジアの再生可能エネルギー開発 Overseas Field Seminars :Development of Renewable Energy in ASEAN		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Energy Science Associate Professor,OGATA SEIICHI Graduate School of Advanced Integrated Studies in Human Survivability Professor,IALNAZOV, Dimiter Savov	
Group		Career Development		Field(Classification)			
Language of instruction		Japanese and English		Old group		Number of credits 2	
Hours		30		Class style seminar (Face-to-face course)		Year/semesters 2026・Intensive, First semester	
Days and periods		Intensive TBD		Target year All students		Eligible students For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
東南アジア（タイ・バンコク/チェンマイ）等に所在する大学及びNSTDA（Thailand National Science and Technology Development Agency）を訪問し、エネルギー・環境・持続可能性に関わる技術・経済・社会に関わる基礎理論を学習し、再生可能エネルギー導入時の問題点および将来展望について学ぶ。							
[Course objectives]							
再生可能エネルギーの特徴を踏まえ、地域に適合した技術導入についての課題を文理双方の視点から統合的に理解する。そして、SDGsやカーボンニュートラル実現に向けた技術・社会経済・事業モデルの在り方学ぶ。また、このセミナーで学んだ知識を基に、東南アジアの地域におけるカーボンニュートラル実現に向けた具体的な事業モデルを検討し、政策提案につなげる。							
[Course schedule and contents)]							
出発日前事前授業間（受講生の都合のつく時間帯に3コマ程度を実施）							
本年度は、2026年9月に実施する予定である。 本年度の講義は、バンコク・NSTDAを拠点にして研修・現地調査・講義等が実施する。 以下は、スケジュール例である 第1日 日本出発ーバンコク到着 * NSTDAが所在するタイランド・サイエンスパークに移動し滞在する * タイランド・サイエンスパークは、大学・研究所・ホテル・レストラン・病院等が集積する複合施設で、このサイエンスパークを拠点にして研修及び学習を行う。 第2日① NSTDA（MTEC・TIIS）で、講義（タイと日本のエネルギー利用の特徴） NSTDAの研究施設で研修① 循環経済・農業に関わる技術研修 第2日② NSTDAの研究施設での研修② エネルギー・環境・持続可能性に関わる技術研修 第3日① 再生可能エネルギー施設訪問（フィールドワーク・バンコク近郊・工場見学） 第3日② タイ・文化施設訪問・再生可能エネルギー開発に注目するバンコク市内の学部学生等との交流会							
Continue to 海外実地セミナー:東南アジアの再生可能エネルギー開発(2)↓↓↓							

第4日 サークュラーエコノミー調査（フィールドワーク・バンコク郊外・スマート農業等の事例調査）

第5日 グループ討論（再生可能エネルギー・カーボンニュートラル実現に向けたビジネスモデル・政策モデルの検討）

第5日 バンコク発 - 日本到着（翌日）

日程は都合により変更される場合がある。

*NSTDAのシニアリサーチャー及びジュニアリサーチャーの協力を得て学習と研修を進めます。

*再生可能エネルギー開発に注目するバンコク市内の大学の学部学生等の交流会が予定されています。

*現地調査の都合で、タイ北部・チェンマイに移動して現地調査を実施する場合があります。

帰国後に、地域におけるカーボンニュートラル実現に向けた具体的な再生可能エネルギー開発のモデルを検討し、レポートとして提出すること。

[Course requirements]

①履修定員：5名（最小遂行人数：2名）

②説明会について：受講希望者は、5月頃（予定）に行われる説明会に出席のうえ、説明会で配付される応募書類を期日までに提出すること。

③選考方法について：受講者については、「志望理由」等に基づき総合的に選考を行う。

④履修取消について：本科目は履修取消対象外の科目となるため、履修登録確定後の取消はできない。

・安全講習の受講、学研災付帯海外留学保険への加入。

・志望理由書の提出を求めます。詳細は、国際高等教育院事務部からの指示に従ってください。

[Evaluation methods and policy]

現地での学習状況(50%)、現地での発表会報告内容もしくは帰国後提出するレポート(50%)に基づき採点する

[Textbooks]

Not used

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

事前授業を含め、すべての行事に参加すること。本科目は、文系・理系の両面から学習します。

[Other information (office hours, etc.)]

前期の採点報告日以降に実施するため、成績報告が前期に間に合わない可能性がある

旅費は自己負担となる。費用の目安は、航空運賃・滞在費などを含めて25万円程度（2024年実績）である。

※本科目は、フィールド調査の現地状況等の都合によって不開講となる可能性がある

[Essential courses]